

平成18年度



第3回CPC

多発外傷回復期の突然死 の1例

開催日：平成18年10月18日(水)

時間：17:30～19:00

場所：病院本館C41講義室

関連科：脳神経外科，整形外科，眼科，
形成外科，呼吸器内科，第1病理学

司会： 福島 俊洋 先生（血液免疫内科）
伊川 廣道 先生（小児外科）

ミニレクチャー：朝倉 英策 先生（金沢大学附属病院
高密度無菌治療部）

松原 純一 先生（心血管外科学）

症例：60歳代 女性

現病歴：車の後部座席に同乗中，交通事故に遭遇し，緊急入院となった。開放性頭蓋骨骨折（前額部開放，前頭骨陥没・粉碎，一部脳脱），右大腿骨・肋骨骨折，肺挫傷，出血性ショックの状態があり，緊急手術となった。右図はCTと3D-CT像。

術後経過：・・・（詳細は当日配布）・・・意識障害は徐々に改善したが，15病日より高熱，CRPの上昇を認めた。25病日，急に意識消失，心・肺停止となり，永眠された。



CPC（臨床病理検討会）は病理解剖症例をもとに，私たちの医療行為を振り返り，医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医，各科医師はもちろん，学生，全職員，院外の先生方にも参加いただけます。放射線科医による画像の読影，コメディカルや看護師による指定発言，今回は金沢大学の朝倉英策先生，松原純一先生のミニレクチャーを予定しています。

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部（内線 5348）